



1学期も終盤に入り、面談週間になりました。1年生は文理選択、2年生は3年次の選択科目決定、3年生は具体的な目標を決めていよいよ勉強に力が入る時期です。進路通信1号は大学入試の変更点をまとめてみました。そして、今後どのように高校生活を過ごすのがよいかまとめてみました。

大学入学共通テスト

現行のセンター試験は現3年生が受験する2020年1月で終了です。2020年度、現在の高2から大学入学共通テストが始まります。現時点ではっきりしていることと、新入試に向けての杉高の取り組みをまとめてみました。

1 現行のセンター試験との違い

当初は国語と数学で実施され、2024年度以降からは地歴・公民や理科分野に広げることが検討されています。なお、初回の共通テストの日程は2021年1月16日、17日です。大学への成績提供は2月9日から、国公立大学へは2月11日からとなります。(大学入試センター 2019.6.7)

○国語(大学入試センター「『共通テスト』問題作成の方向性等」より)

- ・記述問題は 80~120字程度を含めた3問程度
→ マーク式問題とは独立して出題(評価もマーク式問題とは別に段階別評価)
- ・試験時間は、現行のセンター試験の80分から 100分に延長

○数学(大学入試センター「『共通テスト』問題作成の方向性等」より)

- ・「数学I」「数学I・数学A」受験者が対象
- ・「数学I」の範囲から 3問、マーク式問題と混在する形で出題予定
→ 記述式問題は、マーク式問題と合わせて合計100点の中で配点が行われることになる
- ・試験時間は現行のセンター試験の60分から 70分に延長

○英語(大学入試センター「『共通テスト』問題作成の方向性等」より)

- ・筆記とリスニングの配点の変更
→ 筆記とリスニング各100点の計200点に変更 ※配点の重みは各大学に委ねられる(センター試験は筆記200点、リスニング50点の計250点)
- ・試験時間は現行のセンター試験と変化なし(筆記80分、リスニング60分)
- ・リスニングに関しては、1回読みと2回読みを混在して出題する予定

記述式の問題が国語と数学で導入されますが、心配することはありません。なぜなら、学校で実施しているテストや実力試験では記述式の問題が出題されているからです。ですから、学校で実施しているテストや実力試験にしっかり取り組みましょう。そして、結果が返却されたら「問題の趣旨をきちんと理解して解答できていたか」等、自分の答えと模範解答を見比べて復習をしましょう。記述式問題を含め、自己採点に慣れることも大切です。

2 外部英語検定試験の導入

○基本事項

- ・ 4技能(読む・書く・聞く・話す)評価の導入
→ 4技能評価を行っている外部英語検定試験の利用
- ・ 高3の4月~12月の間に受検した2回までの資格・検定試験の結果が大学に提供される。
→ 成績結果は、受検者が資格・検定試験の受験を申し込む際に、大学入試センターからあらかじめ個人ごとに発行されたIDを記載することにより、試験実施主体から大学入試センターへ成績が送付され、さらに大学入試センターから大学へと提供される。
※なお、個人のIDは高2の11月に学校を通じて申し込むこととなります。

本校では、3年生で受験する外部英語検定試験を見越して、1・2年生の2学期にGTEC for STUDENTSを実施しています。そして、今年度から現2年生の英語でスピーキングを取り入れた授業を行います。また、希望者は校内で英語検定も受検することができます。希望大学が外部英語検定試験を導入しているか調べ、積極的に資格・検定試験にチャレンジしましょう。ただし、大学によっては取得期限を設けているところもありますので、注意が必要です。

3 「主体性」が入試で問われる

【主体性を磨く活動の例】

ジャンル	内容
課外活動	探究活動、スピーチコンテスト、留学・海外交流イベントなど
委員会活動	生徒会、委員会、イベントの実行委員
スポーツ活動	部活動、クラブチームでの活動、マラソン大会などのイベント
文化・芸術活動	部活動、コンテスト、コンクール、芸術鑑賞
その他の活動	ボランティア、インターンシップ、資格・検定試験

これからの入試は、「学ぶ姿勢・態度」「主体性」なども評価の対象になります。そのため、これまで推薦入試で多く活用されてきた調査書や志望理由書が一般入試でも活用されていく動きがみられます。調査書や志望理由書に書くのは高校での活動履歴です。例えば部活動、ボランティア活動等に対して、何を考え、どのように努力したのか、「過程」を含めて記入をしましょう。大学はその過程も見て、受験生の主体性や学ぶ姿勢・意欲を判断するそうです。活動履歴を残しておく、いつでも振り返りができて、やる気を高められます。「杉高手帳」をぜひ利用してください。また、「今回はこうだったから次はこうしよう」とスムーズに活動を進めるきっかけにもなります。ですから、入試のためだけでなく、自分の成長のためにも記録を残しておきましょう。

夏休みを前に

家で過ごす時間が長い夏休みは、家で学習習慣を身につける絶好の機会です。毎日決まった時間学習をしましょう。杉高では毎年数多くの補習講座を設けています。補習には積極的に参加し、学んだ内容を定着させるためにも復習は必ず行いましょう。裏面に夏期補習の予定を載せてありますので、参考にして夏休みの予定を立ててみてください。

また、夏休みを中心に各校でオープンキャンパスが開催されます。大学の「生」の雰囲気を体感することは、大学での学びのイメージをつかみ、進路選択をより具体的に考えるための大きな手助けになります。ぜひ、比較的余裕のある夏休みに複数の大学を見学し、比較検討してみてください。そして「憧れ」を見つけ、勉強のモチベーションを上げていきましょう。